

①HbA1c の目標とは？



こんにちは。たかベクリニックです。今回は、HbA1c（ヘモグロビン・エイワンシー）の目標についてのお話です。

赤血球の中のHb（ヘモグロビン）という色素のうち、ブドウ糖と結合している割合を示すのがHbA1cと呼ばれるもので、赤血球の糖化度を利用し過去1~2カ月の血糖コントロール状態を示しています。血糖値が高いほどHbA1c値も大きくなり、合併症の進行と深く関係しています。

何%を目標に治療をしていくかは、年齢や罹病期間などその方その方の背景に考慮しながら、以下のように設定しています

● 血糖正常化を目指す際の目標⇒ 6.0%未満

全くの正常で、血糖による合併症進行はほとんどありません。食事運動療法だけで達成可能なときや、少ないお薬で低血糖などの副作用がなく達成可能なときに目指す、最高の目標です。

● 合併症予防のための目標⇒ 7.0%未満

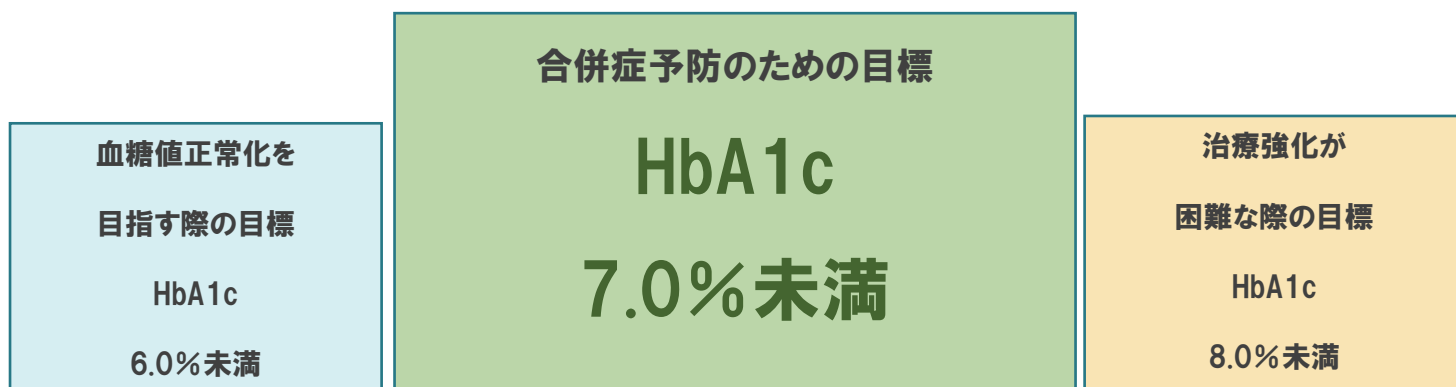
血管を守るため、神経障害・網膜症・腎臓症の3大合併症を予防するために、多くのお薬を使用してでも目指したい通常目標。年間1%未満の合併症進行率となります。

● 治療強化が困難な際の目標⇒ 8.0%未満

年間3%程度の合併症進行を認めますが、外科的な手術が延期なく受けられるギリギリの値。高齢者や、低血糖などにより積極的に治療を行えない場合の最低限の目標。

血糖コントロール目標

NGSP 値に統一



HbA1cは血糖と違い、食事の影響を受けないため食前・食後を問わずいつでも検査ができます。HbA1cの目標を定めてコントロールを続けていくことで、糖尿病による合併症を防ぐことにつながります。

文責 看護師 成田 糖尿病専門医 高部